

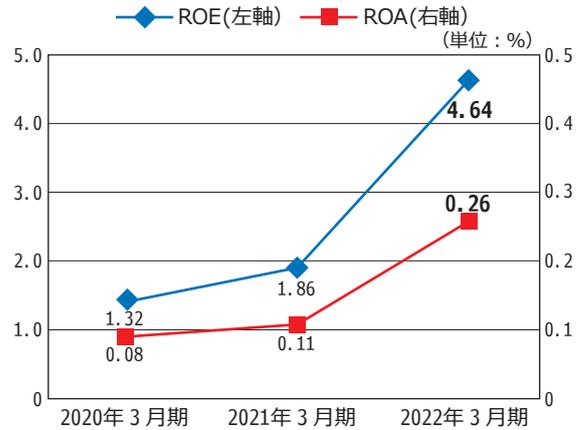
# 経営指標

## 経営効率の状況

(単位：%)

	2020年 3 月期	2021年 3 月期	2022年 3 月期	前期末比
ROE (当期純利益基準)	1.32	1.86	4.64	+2.78
ROA (当期純利益基準)	0.08	0.11	0.26	+0.15
一株当たり 当期純利益(円)	262.83	380.57	1,003.85	+623.28
一株当たり 純資産(円)	18,898.09	21,948.71	21,275.57	▲673.14

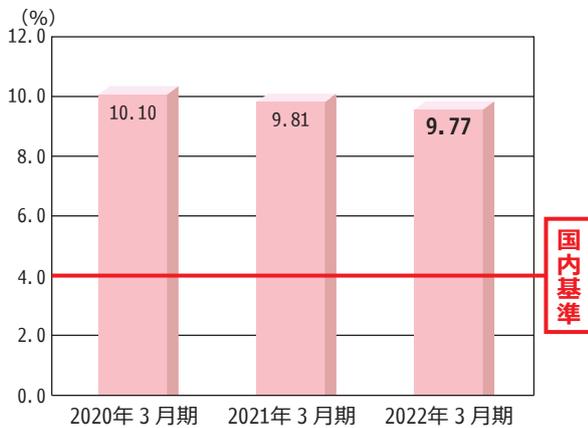
ROE(株主資本利益率)：株主資本を使ってどれだけ利益をあげたかを示す指標。  
この値が高いほど効率性が高いことを示します。  
ROA(総資産利益率)：総資産を使ってどれだけ利益をあげたかを示す指標。  
この値が高いほど効率性が高いことを示します。



# 資産の健全性

## 自己資本比率

当行は単体9.77%と自己資本比率規制の国内基準 4%を大きく上回っております。



## 格付

株式会社日本格付研究所 (JCR) より長期発行体格付として「A (シングルA)」という高いランクの格付を取得しております。

AAA
AA
<b>A</b>
BBB
BB
B
CCC
CC
C
D



Littlelovin

© 2022 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L632704

※計数は単位未満を切捨表示としております。

# 資産の健全性

## 資産の自己査定と償却・引当

当行は「堅実経営」を堅持するため、資産の健全性確保には常に留意して取り組んでおります。

資産内容の点検につきましては厳格な自己査定を実施し、その結果に基づき回収不能と判定される貸出金を償却するとともに、回収可能性に疑念のある貸出金についても積極的に貸倒引当金を積み増すなど、資産内容の健全化に努めております。

今後とも不良債権の早期処理・発生防止を徹底し、資産の健全化を図り「堅実経営」の維持に努めてまいります。

### 自己査定・リスク管理債権（単体）

（単位：百万円）

自己査定結果 対象：総与信					リスク管理債権および保全状況 対象：総与信 要管理債権は貸出金のみ			
債務者区分 与信残高	分類				開示区分 与信残高	担保・保証 による保全	引当額	保全率
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 1,367 (703)	664	38	—	— (664)	破産更生債権及び これらに準ずる債権 7,478 (3,909)	3,839	3,639	100.00%
実質破綻先 6,111 (3,206)	2,812	323	— (70)	— (2,905)				
破綻懸念先 40,264	28,423	3,494	5,397 (2,956)		危険債権 40,489	32,142	2,956	86.68%
要 注 意 先	要管理先 8,178	3,107	5,070		要管理債権 5,005	2,760	182	58.79%
					三月以上延滞債権 302			
					貸出条件緩和債権 4,703			
					小計 52,974 (49,404)	38,741	6,779	85.93%
	要管理先 以外の 要 注 意 先 419,744	289,856	129,887		正常債権 2,756,813			リスク管理債権(小計)の総与信に占める割合 ( )内は、部分直接償却実施後 1.88% (1.76%)
	正常先 2,297,764	2,297,764			合計 2,809,787 (2,806,218)			
	合計 2,773,431 (2,769,861)	2,622,629	138,814	5,397 (3,027)	— (3,569)			

2022年3月31日現在

- (注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。また、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. 総与信 = 貸出金 + 支払承諾見返 + 外国為替 + 貸出金に準ずる仮払金 + 未収利息  
 3. 「自己査定結果」の分類額は引当後の計数で、( )内は分類額に対する引当金であります。  
 4. 当行は部分直接償却を実施していませんが、実施した場合の開示債権額を( )内に記載しております。  
 5. 「金融商品に関する会計基準」の変更により、自己査定結果は、私募債に係る支払承諾残高(簿価)及び分類額を除き、リスク管理債権及び保全状況は、私募債残高(時価)及び保全額を含みます。

# 資産の健全性

## リスク管理債権の状況

「銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令」（2020年1月24日 内閣府令第3号）が2022年3月31日から施行されたことに伴い、銀行法の「リスク管理債権」の区分等を、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく開示債権の区分等に合わせて表示しております。

部分直接償却は実施しておりません。  
未収利息不計上基準（自己査定基準）

### ○リスク管理債権

対象債権は貸出金のみです。

### ○破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

### ○危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

### ○要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

### ○正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記の破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権以外のものに区分される債権です。

## リスク管理債権（単体）

（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	7,707	7,478	△228
危険債権額	32,925	40,489	7,563
要管理債権額	4,922	5,005	83
三月以上延滞債権額	1,184	302	△882
貸出条件緩和債権額	3,737	4,703	966
合計（A）	45,555	52,974	7,418
正常債権額	2,529,320	2,756,813	227,493
総与信（B）	2,574,875	2,809,787	234,912

## リスク管理債権（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	7,735	7,504	△231
危険債権額	32,926	40,489	7,563
要管理債権額	4,922	5,005	83
三月以上延滞債権額	1,184	302	△882
貸出条件緩和債権額	3,737	4,703	966
合計（A）	45,584	53,000	7,415
正常債権額	2,529,457	2,756,925	227,468
総与信（B）	2,575,042	2,809,926	234,883

## リスク管理債権構成比（連結）

